

令和6年度 野のゆり保育園 全体的な計画

令和6年3月14日

基本理念	<ul style="list-style-type: none"> 健康で豊かな人間性を育む 	
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> 人には優しい心・自分には強い心 創造力と自立心 	
保育方針	平和教育	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが「自分は大切にされている」という実感を持って過ごせるよう、常に温かく応答的な関わりをする。 人からあらたかく受け止められた実感から育まれる安心感を土台として自ら人を大切にしたいやりの心が育まれることを目指す。
保育方針	安心感	<ul style="list-style-type: none"> 身近な人への基本的な信頼感を基礎として、さらに大きな存在から見守られることを感じられるようにする。 一人ひとり大切にすることを、特別な配慮を含め、個別の計画、また日々の記録を細やかに取り、実践に活かす。
保育方針	子どもの権利	<ul style="list-style-type: none"> 保育の何よりも大切にしなければならぬ行為は、子どもの声を聞くことにある。 一人ひとりの子どもが自分の声によく耳を傾け、子どもが発することのできない声も感じ取れるように努める。 子ども自身の「選ぶ」「選ぶ」行為を尊重し、主体性、能動性が十分に発揮され、自己肯定感が高まるような環境を作る。
保育方針	生活とあそび	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの個性を尊重し、応答的な関わりを丁寧に行っている。クラスの人数が少ないことを活かし、より質の高い実践につなげることに努める。 幼児クラスは異年齢で過ごすことで、同年齢に拘ることなく、多様な仲間関係を築けるように保育が展開する。 室内では、素材・配色にこだわったおもちゃ(特に木製)や柵を多くそろえ、他、手作りの玩具を豊富に作り、遊びの充実を図る。 園庭では、水、草花等と日常の遊びの中で十分に触れ合う機会を作り、豊かな創造力の基礎を育む。 泥、砂、水、草花等と日常の遊びの中で十分に触れ合う機会を作り、豊かな創造力の基礎を育む。 遊びの中で行う多様な発見や経験、毎週行うアートの活動、子どもとの対話的な活動等を通し、子どもたちの豊かな感性や自立心を育むことを目指す。 見渡しの良い園舎の特徴を活かし、子どもたちが安心感を持って過ごせるよう、クラス、担任に拘らず全職員が、保護者や園児との関わりを密に行う。
保育所 責 任 社 会 的	保 育 所 社 会 的 責 任	<ul style="list-style-type: none"> 児童福祉法・保育所保育指針に基づく児童福祉施設として、児童・保護者・地域に対して保育所の役割を果たす。 子どもの人権を尊重し保育を行う。 地域社会と連携を図り、保育の内容を適切に説明する。 個人情報保護法を適切に取り扱い情報や秘密を守る。 保護者の苦情解決を図るよう努める。(第三者委員を含めた苦情解決委員の設置と利用者への告知)
施設 責 任 者 の 年 齢 別 保 育 目 標	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児 1歳児 2歳児 3歳児 4歳児 5歳児 	<ul style="list-style-type: none"> 施設長は、保育所の役割、社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、社会情勢等を踏まえ、専門性の向上に努める。 保育の質、及び職員の専門性の向上のため、研修計画に基づき、体系的に職員の研修計画を設ける。さらに各職員の資質、能力に合わせ、必要な研修機会を設ける。 保育士および保育所の自己評価を定期的、かつ継続的に行い、職員、園の課題を把握した上で、具体的な改善に取り組み。
年 齢 別 保 育 目 標	<ul style="list-style-type: none"> 人への基本的信頼関係が芽生える。 ひとりひとりの生活リズムが整う。 探索活動やひとり遊びを十分に保障する。 保育士との人間関係が深くなり愛着関係を育む 生活や遊びの中で自我が育つような関わりを持つ。 身近な友達と積極的に関わり、意欲を持って活動する。 友達関係が深まり、仲間と共に感情豊かな表現をする。 集団生活の中で自立、意欲的に活動し、体験を積み重ね自信をもって行動する。 	

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
(生命の保持・情緒の安定)					
個々の発達状態に合わせ健康で安全に過ごす					
<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの要求が大切に受け止められ、自分の気持ちや考えを表現する 保育士や大人との信頼関係を基礎に人とのかかわりを広げる 					
健康 ・愛情豊かな受容の下で安定感を持って生活する。 ・食事や午睡、遊びや体操など、保育期間での生活リズムが形成される。 ・一人ひとりの保育に反応し、腕、手首、足を自分の意思で動かしたり繰り返し、振り、回る、這う、立つ、伝い歩き、歩くなど、十分に体を動かす。 ・清潔で安全、かつ快適な環境の中、生理的、心理的欲求を満たし、心地よく生活する。 人間関係 ・大人との安定した関係のもとで友達とのやりとりを楽しんだり共に過ごす心地よさを感じる。 ・身の回りに様々な人があることに気付く、他の子どもとの関わりをもつ遊びを楽しむ。	健康 ・健康で安全な生活に必要な習慣に気付き、保育士等と一緒に、自分自身に気づき、体を伸ばし、遊ぶ、走る、跳ぶ、ぶら下がる、登るなど全身を使う遊びを楽しむ。 人間関係 ・保育士等との受容的、応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす。 ・生活や遊びの中で、身の回りに様々な人があることに気づき、他の子どもとの関わりをもつ遊びを楽しむ。	健康 ・健康で安全な生活に必要な習慣に気付き、身の回りの習慣を身に付ける。 ・様々な遊びや活動を楽しむ。 ・体を伸ばし、遊ぶ、走る、跳ぶ、ぶら下がる、登るなど全身を使う遊びを楽しむ。 人間関係 ・保育士や友だちと共に過ごすことの喜びを感じ、積極的に関わり合いながら関係を深める。 ・自分で考えたことを行動で示したり、伝えようとする。	健康 ・健康で安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・様々な遊びや活動を楽しむ。 ・体を伸ばし、遊ぶ、走る、跳ぶ、ぶら下がる、登るなど全身を使う遊びを楽しむ。 人間関係 ・友だちの良さに気付き、関わりを深め、互いに思いやりや尊重を持って過ごす。 ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思いにも耳を傾けようとする。	健康 ・健康で安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・様々な遊びや活動を楽しむ。 ・体を伸ばし、遊ぶ、走る、跳ぶ、ぶら下がる、登るなど全身を使う遊びを楽しむ。 人間関係 ・友だちの良さに気付き、関わりを深め、互いに思いやりや尊重を持って過ごす。 ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思いにも耳を傾けようとする。	健康 ・健康で安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・様々な遊びや活動を楽しむ。 ・体を伸ばし、遊ぶ、走る、跳ぶ、ぶら下がる、登るなど全身を使う遊びを楽しむ。 人間関係 ・友だちの良さに気付き、関わりを深め、互いに思いやりや尊重を持って過ごす。 ・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思いにも耳を傾けようとする。
言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。	言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。	言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。	言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。	言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。	言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。 言葉 ・言葉で自分の意思や感情や要求を伝える。 ・音の聞こえやリズムに反応する。 ・言葉で遊ぶ。
環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。	環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。	環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。	環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。	環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。	環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。 環境 ・安全な環境の中で、探索活動等を通して、感覚の発達を豊かにする。
表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。	表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。	表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。	表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。	表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。	表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。 表現 ・手振りや動作で感情や要求を豊かにする。

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
(1)おおむね6か月未満 ・心身の未熟性 ・著しい身体的成長と感覚の発達 ・首がすわる ・腹ばい ・表情の変化、身体の動き ・喃語などによる表現 ・音遊び	(2)おおむね6か月～1歳3か月未満 ・座る、はう、立つ、つたい歩き ・手の使う等、運動機能が活発になる ・大人とのかかわりが深まり、やりとりが盛んになる ・愛着と人見知り	(3)おおむね1歳3か月～2歳未満 ・歩行の開始と言葉の習得 ・さまざまな運動機能の発達 ・発達による行動範囲の拡大 ・大人数のかかわりが深まり、やりとりが盛んになる ・愛着と人見知り	(4)おおむね2歳～3歳 ・基本的な運動機能の成長や指先の機能の発達 ・食事、衣類の着脱、排泄等自分でやろうとする ・言葉の増加 ・自己主張の高まり ・模倣やごっこあそびが始まる ・全身のバランス力、体の動きが巧みになる ・自然など身近な環境への積極的な関わりから様々な遊びを経験したり、展開する ・自意識が高まり、葛藤の経験が増える。仲間との繋がりが強くなる一方、けんかも増える	(5)おおむね3歳～4歳 ・基本的な生活習慣の形成 ・話し言葉の基礎形成 ・知的興味・関心の高まり ・予想や意図、期待を持った行動 ・身体的バランス力、体の動きが巧みになる ・自然など身近な環境への積極的な関わりから様々な遊びを経験したり、展開する ・自意識が高まり、葛藤の経験が増える。仲間との繋がりが強くなる一方、けんかも増える	(6)おおむね4歳～5歳 ・全身のバランス力、体の動きが巧みになる ・自然など身近な環境への積極的な関わりから様々な遊びを経験したり、展開する ・自意識が高まり、葛藤の経験が増える。仲間との繋がりが強くなる一方、けんかも増える	(7)おおむね5歳～6歳 ・基本的な生活習慣の確立 ・運動遊びをしたり、全身を動かしたりして活発に遊ぶ ・仲間と共に遊ぶ中で規範意識や共同遊びの展開 ・思考力や認識力の高まり、自然・社会事業などへの興味、関心の深まり

養護、教育を一体として行う 保育のねらい

発達過程

るえ社会生活の発達過程
 ・**0歳児クラス**
 ・**1歳児クラス**
 ・**2歳児クラス**
 ・**3歳児クラス**
 ・**4歳児クラス**
 ・**5歳児クラス**

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
<p>・一日24時間を視野に一人ひとりの生活リズムに合わせた保育を心がけ生活の安定を図る。</p> <p>・一人ひとりの子どもの生活、発達等に留意して、特定の保育士が応答的に関わるように努める。</p> <p>・身近な人と関わる事を、自らすすんで求められるよう、目標を合わせることと大切に、聲やかに話しかけたり、発声や喃語に応答的に関わることに努める。</p> <p>・安全かつ十分に出来る環境を整える。</p> <p>・興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来るように努める。</p> <p>・一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。</p> <p>・自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整える。</p> <p>・事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。</p> <p>・特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。</p> <p>・保護者、栄養士と連携をとりながら、一人ひとりの発達に合わせた離乳食を進めていく。</p> <p>・抵抗力が弱く感染症にかかりやすいため、室内の環境、光、湿度、換気、清潔に十分留意し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。</p> <p>・講話と看護助との連携をとり、毎週健診を行うなど、個々の健康状態に細やかに配慮できるように努める。</p> <p>・午睡フェックをこまめに行い、事故防止に努める。</p>	<p>・子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。</p> <p>・興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。</p> <p>・自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。</p> <p>・特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。</p> <p>・子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。</p>	<p>・子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。</p> <p>・興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。</p> <p>・自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。</p> <p>・特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。</p> <p>・子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。</p>	<p>・子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。</p> <p>・興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。</p> <p>・自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。</p> <p>・特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。</p> <p>・子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。</p>	<p>・子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。</p> <p>・興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。</p> <p>・自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。</p> <p>・特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。</p> <p>・子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。</p>	<p>・子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。</p> <p>・興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。</p> <p>・自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。</p> <p>・特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。</p> <p>・子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。</p>	<p>・子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。</p> <p>・興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。</p> <p>・自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。</p> <p>・特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。</p> <p>・子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。</p>
<p>大人の配慮</p>						
<p>保護者との連携支援</p>	<p>・送り迎えの際のちよとした会話や、連絡帳・園だより・クラスだより・日々の掲示等を通して、保護者と共に子どもの成長を喜ぶ。</p> <p>・掲示やお便りの中に写真を載せる、ホームページに行事等の様子を載せるなど、保育の可視化に取り組む。</p> <p>・実際に一日の様子を感じてもらえる機会として、保育参観、保育参加を設けている。その前後で面談も行う。</p> <p>・年頃から保護者との直接の対話を大切に、安心して子どもを預けられるよう信頼関係をつくる。</p> <p>・年齢の特性を理解してもらい子どもの発達に伴う不安や悩みを共に考えていく。</p> <p>・直接会う、話す機会を少なくない保護者には、連絡帳のやり取りをまめにしたり、個人面談などを設け、話をしたり対応する。</p>					
<p>子ども健康支援</p>	<p>・園医による検診 内科、歯科健診年2回 0歳児週1回健康診断</p> <p>・身体測定 月1回</p> <p>・看護師による手洗い指導</p> <p>・登園時及び保育中の健康観察</p> <p>・心身の状態等を観察し、不適切な養育の兆候が見られる場合は関係機関と連携し適切な対応をする。</p> <p>・職員健康診断(年1回)と細菌検査(月1回)</p>					
<p>環境衛生管理</p>	<p>・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒</p> <p>・施設内の安全チェック (月1回)チェックリストの提出)</p> <p>・不審者対応訓練の計画及び実施</p> <p>・事故防止マニュアル・感染予防対策マニュアルの作成と情報共有</p>					

子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。

興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。

自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。

特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。

子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。

子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。

興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。

自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。

特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。

子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。

子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。

興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。

自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。

特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。

子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。

子どもの生活、あそび、発達等の個人差を踏まえて、一人ひとりの子どもの気持ちを受け止め、援助する。

興味を持ったものに、じっくり時間をかけて探索が出来る機会を十分に持つと共に、発見したものを心動いた様子を一緒に面白がる共感のまなざしをもつ。

自我が形成される重要な時期である事を踏まえ、情緒の安定を第一に考える。安心感を土台とした、自発的、主体的な姿が十分に発揮されるよう、子どもの気持ちや感情に敏感に関わりながら、活動しやすい環境を整え、事故防止に努めながら、活動しやすい環境を整え、全身を使った、様々な遊びを取り入れる。

特に感染症にかかりやすい時期であるので、体の状態、機嫌、食欲など、日常の状態を十分に把握し、常に安全で、衛生的な環境づくりに努める。

子どもが知りたいこと、やりたい事の理解に努め、主体性を尊重しつつ、言葉を補ったり、適切な行動を示すなど、丁寧に対応する。

食育	<p>子どもが生活と遊びの中で、意識を持って食に関わる体験を積み重ね、食べる事を楽しみ、他者と食事を楽しみ合えるような姿を期待する。</p> <p>「食と健康」バランスの良い安全な食生活を保障し、子どもたちの健康な心と体を育てる。また、食べ物と身体との関係を知り、自らが健康で安全な生活を作り出す力を養う。</p> <p>「食と人間関係」保育者や、友だちと楽しみあい、豊びながら、家庭的であたたかな雰囲気の中で食事をする。これを基礎に、自立心を育て、人と関わる力を養う。</p> <p>「食と文化」食を通じて、人々が築き、継承してきた様々な文化を理解し、行事と食の関わりを大切にす。</p> <p>「いのちの育ちと食」園庭の畑や果樹で様々な作物を育てる過程に積極的に関わっている。旬の食材にこだわり、食を通じて、自らも含めたすべてのいのちを大切に育てる心を持っている。</p> <p>「料理と食」給食では、常に食材にこだわり、盛り付けを工夫している。食を通じて、素材にかかわり、素材に目を向け、素材に関心を持つ機会とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理保育は、子どもたちが実際に調理を体験するだけでなく、他者と協力して作り、食べる喜びを共感できる機会と捉え、子どもと相談をしながら計画し、実践する。 ・食育の取り組みや基本的なマナーについて、保護者と協力して取り組む。
----	--

地域交流支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園外掲示板・HPなどを利用して、行事や地域支援に関する内容を積極的に情報発信する。 ・小学校の交流会・中学生の職場体験受け入れ、ボランティアの受け入れなど、地域内外の学校との交流を行う。 ・育児相談(ウエルカムベビーの会 保育所体験会)・施設見学・園庭開放の場を設け、地域の子育て支援の拠点として、機能の拡充を図る。 ・保育所体験会の実施を通し、さらに地域の子育て支援の機能の拡充を図る。
--------	--

と小学校連携	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校見学(5歳児)や小学生を保育園に招待 ・幼児期の終わりまでに育って欲しい姿の共有 ・保育所児童保育要録の作成と就学支援シート(保護者より要請があった場合のみ)
--------	---

育長の時間配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する保育士が一日の流れを把握する。 ・情報の伝達が適切に行われるように心がける。(連絡ファイルを使用) ・家庭的でゆとりが感じられるように配慮する。 ・補食や夕食の提供は楽しい雰囲気で行われるようにする。
---------	--

共通理解配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりを大切にす保育の実現の為、特別な配慮を含め、個別の計画、また日々の記録を細やかに取り実践に活かす。 ・子ども自身の「選ぶ」行為を尊重し、主体性、能動性が十分に発揮され、自己肯定感が高まるような環境を作る。 ・常に子どもの思いを受け止められるよう、安心感を基礎とした関わりを以て、子どもとの信頼関係を深める。 ・職員全員が園内の危険箇所について把握し、個々の遊びを保障しながら事故・怪我を防止するよう努める。 ・事故等が起こった際には、事故簿、ヒヤリハットの書類を迅速に記入し、職員間での報告・連絡、検討、対応を迅速に行う。 ・いつ起こるか分からない災害・犯罪に備え、避難訓練、防犯訓練を様々な想定で行う。 ・常に安全で、衛生的な環境を整える。看護師と連携し、感染症の予防に努める。感染症が発生した場合、マニュアルに沿って適切な処置をし、家庭との連携を密に対応する。 ・職員として、立場、仕事に関わらず、日々の報道相だけでなく、子どものこと、保育のことを日々語り、園全体のチームワークを大切にす。 ・職員マニュアルにある理念、人権等の基本方針は事あることに見直す。園内、園外の研修を計画的に実施し、職員自ら、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。 ・研修を積極的に持ち、職員間での学び合い、自己研鑽の機会を創出する。園内研修は月に一回以上行う。園外研修には、個別の課題、キャリアに合わせ計画し、各自必要な研修に行く機会を作る。
--------	---

保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修(マネジメント・乳児保育・幼児保育・障害児保育・食育・アレルギ一対応・保健衛生、安全対策・保護者支援、子育て支援) ・法人研修(加藤 繁美氏を招く)・目黒区私立園合同研修 ・目黒区私立園主任研修 ・園内研修(保護者対応 応急処置 嘔吐処理 環境 職員間のチームワーク) ・外部研修(東社協、こどもとも社)
---------	--

保育内容等の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス第三者評価の策定 ・保育士の評価(自己評価シートにより自己評価)
----------	--